

画面レイアウト (UI設計)	システム名	機能名	作成日	作成者	更新日	更新者
	商品管理	メイン画面	2019/11/25	名前	2019/11/25	名前

レイアウト図

商品ID	商品番号	商品名	編集日付	編集時刻	備考
1	7500	セトウチモン	20190419	203145	瀬戸内レモン...
2	2840	リンゴジュース	20050923	102532	果汁100%の炭...
3	1580	カフェオレ	20160716	91103	200ml増量です
4	270	ウメオネギリ	20080825	141520	none

コメント表示領域

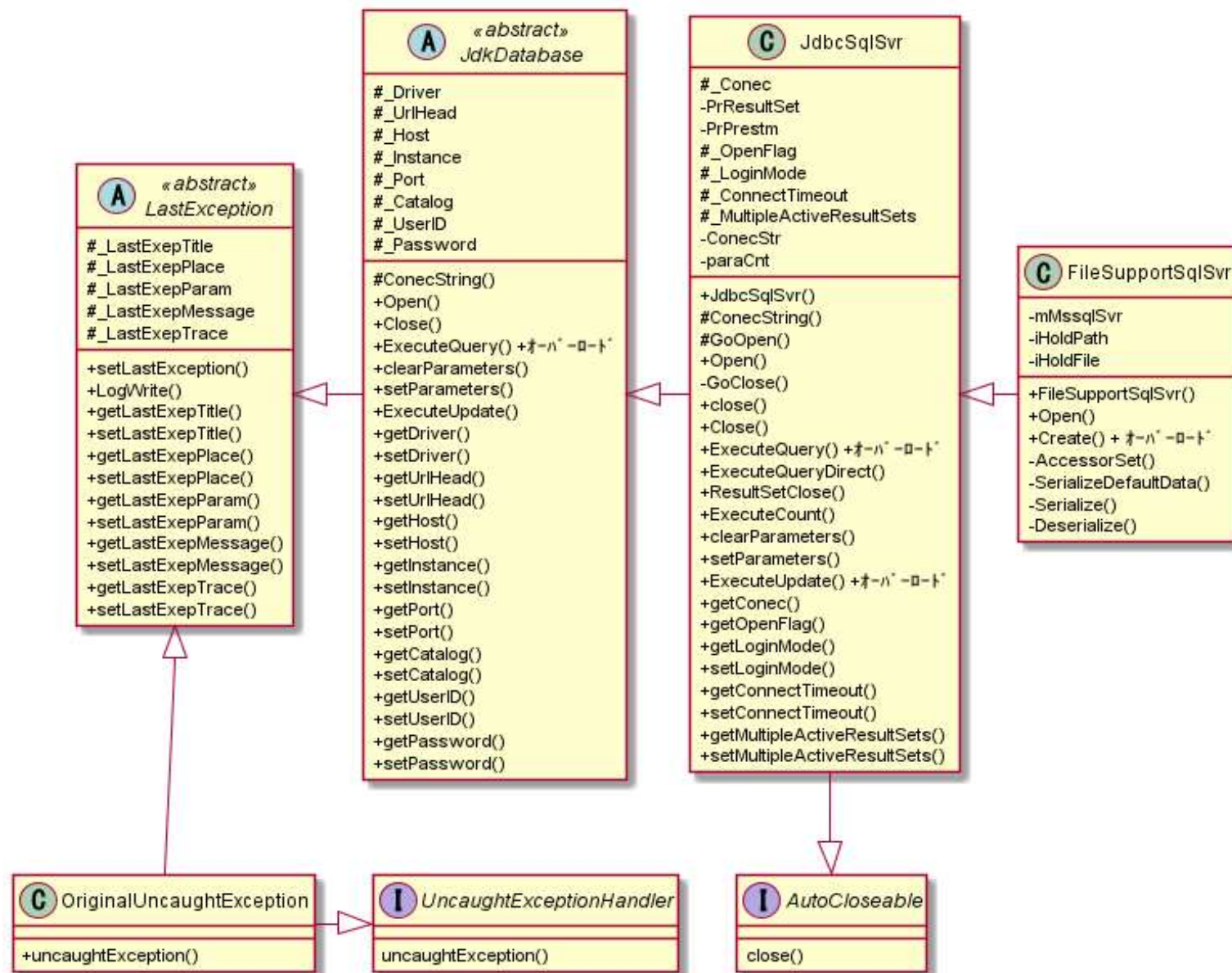
商品ID :
商品番号 :
商品名 :
備考 :

抽出 追加 更新 削除

番号	名称	部品種類	説明
①	商品一覧	表(DataGridView)	商品の一覧が表示されます。
②	コメント表示	ラベルエリア	抽出などの作業を行った内容のコメントが表示されます。
③	商品ID	ラベル	商品一覧の行選択された商品IDが表示されます。
④	商品番号	テキストボックス	追加または更新する内容の商品番号を入力します。商品一覧の行選択された商品番号が表示されます。
⑤	商品名	テキストボックス	追加または更新する内容の商品名を入力します。商品一覧の行選択された商品名が表示されます。
⑥	備考	テキストボックス	追加または更新する内容の備考を入力します。商品一覧の行選択された備考が表示されます。
⑦	抽出	ボタン	データベースから全件取得し商品一覧を表示します。
⑧	追加	ボタン	テキストボックスの内容で商品をデータベースに追加します。
⑨	更新	ボタン	商品一覧で行選択された商品をテキストボックスの内容でデータベースの更新を行います。
⑩	削除	ボタン	商品一覧で行選択された商品をデータベースから削除します。

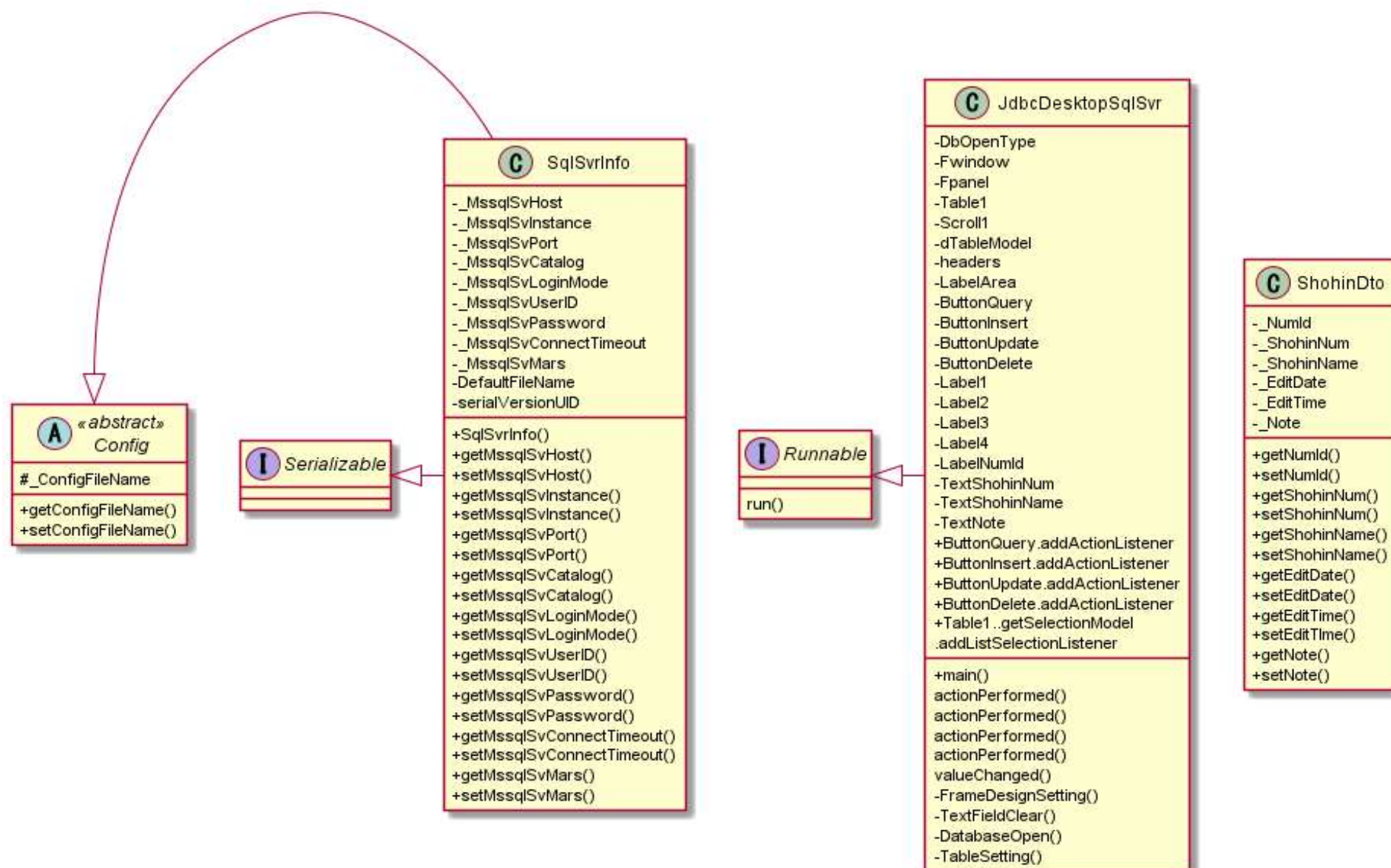
クラス図 (詳細設計)	システム名	機能名	作成日	作成者	更新日	更新者
	商品管理	クラス図1	2020/02/18	名前	2020/02/29	名前

クラス図



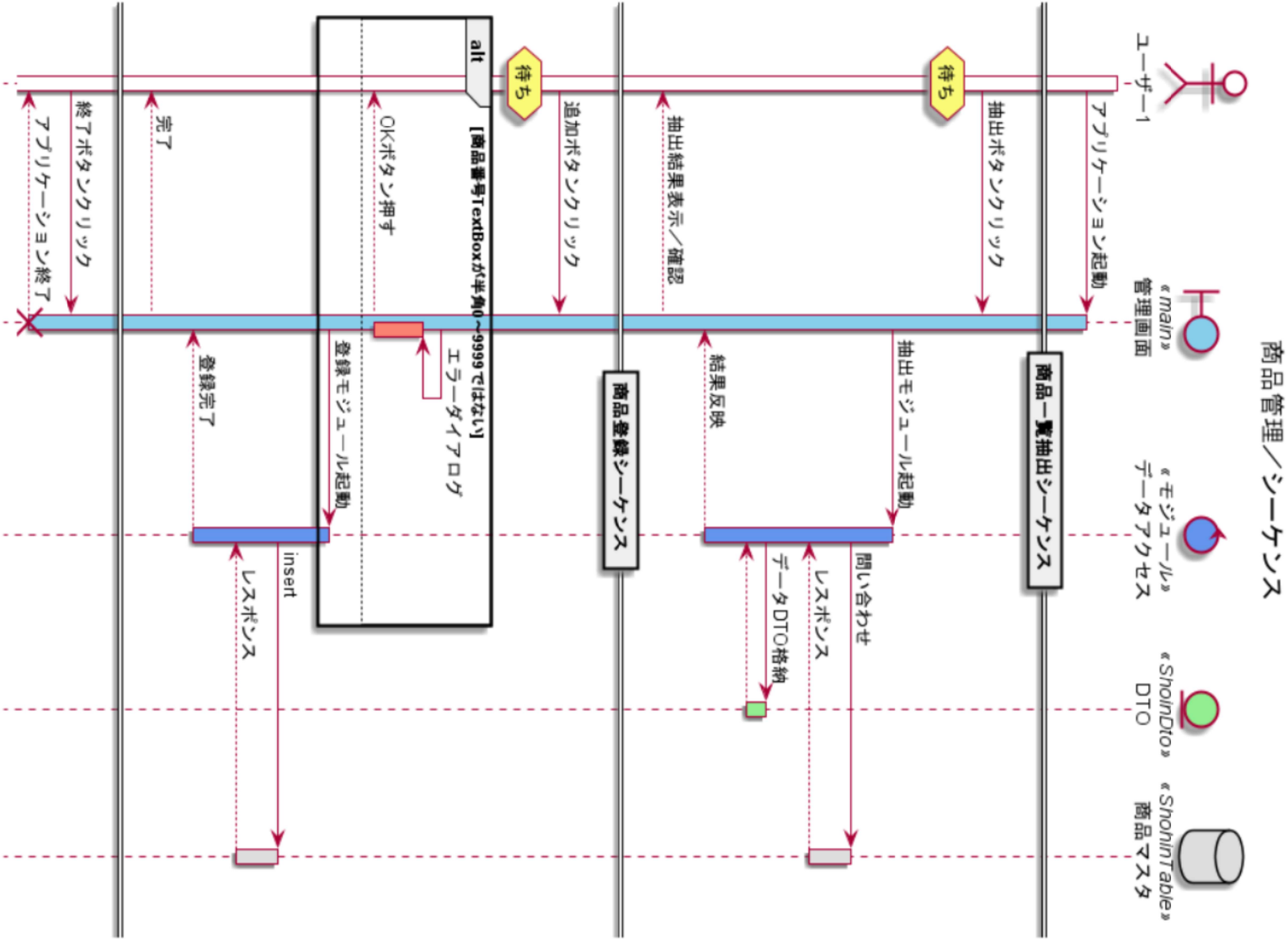
クラス図 (詳細設計)	システム名	機能名	作成日	作成者	更新日	更新者
	商品管理	クラス図2	2020/02/18	名前	2020/02/18	名前

クラス図



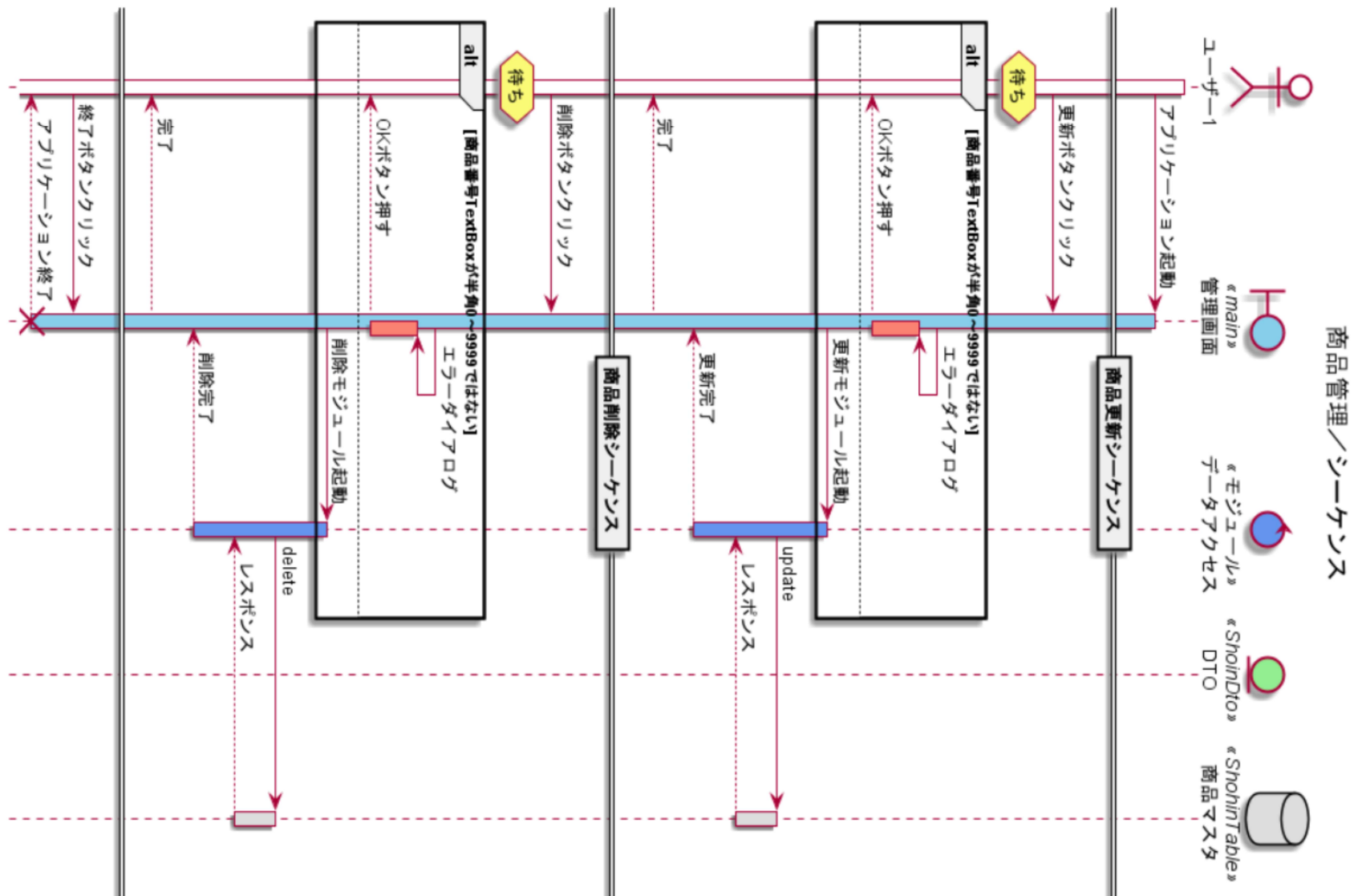
シーケンス図 (詳細設計)	システム名	機能名	作成日	作成者	更新日	更新者
	商品管理	商品抽出・登録シーケンス	2020/03/25	名前	2020/03/25	名前

シーケンス図



シーケンス図 (詳細設計)	システム名	機能名	作成日	作成者	更新日	更新者
	商品管理	商品更新・削除シーケンス	2020/03/25	名前	2020/03/25	名前

シーケンス図



クラス設計書 (詳細設計)		システム名	機能名	クラス名	作成日	作成者	更新日	更新者
		商品管理	メイン画面クラス	JdbcDesktopSqlSvr	2020/02/18	名前	2020/02/29	名前
1. クラス属性								
アクセス修飾	public	クラス種類	通常クラス			パッケージ	desk.main	
継承	なし			実装(インターフェース)	Runnable		派生	なし
2. クラス定義								
No	メンバ名	アクセス修飾	種類	説明				
1	DbOpenType	private	Variable	データベースへの接続で接続文字列をXml設定ファイルからの読み込みか否か				
2	Fwindow	private	Variable	メインフレームオブジェクト				
3	Fpanel	private	Variable	メイン画面のパネルオブジェクト				
4	Table1	private	Variable	メイン画面のテーブルオブジェクト				
5	Scroll1	private	Variable	テーブルをスクロールするためのスクロールパネルオブジェクト				
6	DtableModel	private	Variable	テーブルのデフォルトテーブルモデルオブジェクト				
7	headers	private	Variable	テーブルヘッダー格納用の文字列配列				
8	LabelArea	private	Variable	メイン画面のテキストエリアオブジェクト				
9	ButtonQuery	private	Variable	メイン画面の抽出ボタンオブジェクト				
10	ButtonInsert	private	Variable	メイン画面の追加ボタンオブジェクト				
11	ButtonUpdate	private	Variable	メイン画面の更新ボタンオブジェクト				
12	ButtonDelete	private	Variable	メイン画面の削除ボタンオブジェクト				
13	Label1	private	Variable	メイン画面の商品IDラベルオブジェクト				
14	Label2	private	Variable	メイン画面の商品番号ラベルオブジェクト				
15	Label3	private	Variable	メイン画面の商品名ラベルオブジェクト				
16	Label4	private	Variable	メイン画面の備考ラベルオブジェクト				
17	LabelNumId	private	Variable	メイン画面の商品IDの値表示用ラベルオブジェクト				
18	TextShohinNum	private	Variable	メイン画面の商品番号テキストフィールドオブジェクト				
19	TextShohinName	private	Variable	メイン画面の商品名テキストフィールドオブジェクト				
20	TextNote	private	Variable	メイン画面の備考テキストフィールドオブジェクト				
21	run	@Override public	Procedure	メインプログラム				
22	main	public static	Procedure	メインメソッド(エントリーポイント)。スレッドの開始				
23	ButtonQuery.addActionListener actionPerformed	private	Event	抽出ボタンをクリック時のイベントプロシージャ				
24	ButtonInsert.addActionListener actionPerformed	private	Event	追加ボタンをクリックした時のイベントプロシージャ				
25	ButtonUpdate.addActionListener actionPerformed	private	Event	更新ボタンをクリックした時のイベントプロシージャ				
	ButtonDelete.addActionListener actionPerformed	private	Event	削除ボタンをクリックした時のイベントプロシージャ				
26	Table1.getSelectionModel.addListSelectionListener	private	Event	テーブルの行が選択された時のイベントプロシージャ				
27	valueChanged							
28	FrameDesignSetting	private	Procedure	フレーム上のコントロールの表示設定				
29	TextFieldClear	private	Procedure	テキストフィールドの文字列クリア				
30	DatabaseOpen	private	Procedure	データベースオープン				
31	TableSetting	private	Procedure	テーブル(Table1)の表示設定				

クラス設計書 (詳細設計)		システム名	機能名	クラス名	作成日	作成者	更新日	更新者
		商品管理	例外トラップクラス	OriginalUncaughtException	2020/02/29	名前	2020/02/29	名前
1. クラス属性								
アクセス修飾	public	クラス種類	通常クラス		パッケージ	desk.main		
継承	LastException		実装(インターフェース)	UncaughtExceptionHandler		派生	なし	
2. クラス定義								
No	メンバ名	アクセス修飾	種類	説明				
1	uncaughtException	@Override public	Procedure	キャッチされなかった非検査例外をトラップさせるプロシージャー				
2								
3								

クラス設計書 (詳細設計)		システム名	機能名	クラス名	作成日	作成者	更新日	更新者
		商品管理	Data Transfer Objectクラス	ShohinDto	2020/02/18	名前	2020/02/18	名前
1. クラス属性								
アクセス修飾	public	クラス種類	通常クラス					
継承	なし	実装(インターフェース)			なし	派生	なし	
2. クラス定義								
No	メンバ名	アクセス修飾	種類	説明				
1	_NumId	private	Variable	ShohinDataDeskテーブルとマップするためのオブジェクト。自動連番。				
2	_ShohinNum	private	Variable	ShohinDataDeskテーブルとマップするためのオブジェクト。商品番号。				
3	_ShohinName	private	Variable	ShohinDataDeskテーブルとマップするためのオブジェクト。商品名。				
4	_EditDate	private	Variable	ShohinDataDeskテーブルとマップするためのオブジェクト。編集日付。				
5	_EditTime	private	Variable	ShohinDataDeskテーブルとマップするためのオブジェクト。編集時刻。				
6	_Note	private	Variable	ShohinDataDeskテーブルとマップするためのオブジェクト。備考。				
7	getNumId	public	Function	_NumIdフィールドのゲッター				
8	setNumId	public	Procedure	_NumIdフィールドのセッター				
9	getShohinNum	public	Function	_ShohinNmuフィールドのゲッター				
10	setShohinNum	public	Procedure	_ShohinNmuフィールドのセッター				
11	getShohinName	public	Function	_ShohinNameフィールドのゲッター				
12	setShohinName	public	Procedure	_ShohinNameフィールドのセッター				
13	getEditDate	public	Function	_EditDateフィールドのゲッター				
14	setEditDate	public	Procedure	_EditDateフィールドのセッター				
15	getEditTime	public	Function	_EditTimeフィールドのゲッター				
16	setEditTime	public	Procedure	_EditTimeフィールドのセッター				
17	getNote	public	Function	_Noteフィールドのゲッター				
18	setNote	public	Procedure	_Noteフィールドのセッター				
19								
20								

クラス設計書 (詳細設計)		システム名	機能名	クラス名	作成日	作成者	更新日	更新者
		商品管理	データ・アクセス・オブジェクト	JdbcSqlSvr	2020/02/18	名前	2020/02/29	名前
1. クラス属性								
アクセス修飾	public	クラス種類	通常クラス		パッケージ	desk.db		
継承	LastException→JdkDatabase			実装(インターフェース)	AutoCloseable	派生	FileSupportSqlSvr	
2. クラス定義								
No	メンバ名	アクセス修飾	種類	説明				
1	_Conec	private	Variable	クラス内で使うConnectionオブジェクト				
2	PrPrestm	private	Variable	クラス内で使うPreparedStatementオブジェクト				
3	PrResultSet	private	Variable	クラス内で使うResultSetオブジェクト				
4	_OpenFlag	protected	Variable	データベースコネクションの接続状態				
5	_LoginMode	protected	Variable	接続文字列IntegratedSecurityに代入。OS統合認証かSQLServer認証で接続するかの設定				
6	_ConnectTimeout	protected	Variable	接続文字列ConnectTimeoutに代入する変数。接続タイムアウト値。				
7	_MultipleActiveResultSets	protected	Variable	接続文字列MultipleActiveResultSetsに代入する変数。複数のSELECT文結果を返す				
8	ConecStr	private	Variable	データベース接続文字列代入用変数				
9	paraCnt	private	Variable	setParametersメソッドの実行毎にカウントアップしPreparedStatementのパラメータIndex用変数				
10	JdbcSqlSvr	public	Constructor	コンストラクタ				
11	ConecString	@Override protected	Procedure	データベース接続のための接続文字列を作成				
12	GoOpen	protected	Procedure	データベース実接続				
13	Open	@Override public	Procedure	接続文字列 パラメータをプロパティへ直接代入してデータベース接続するメソッド				
14	GoClose	private	Procedure	データベース実クローズ、オブジェクト破棄				
15	close	@Override public	Procedure	データベースをクローズ。AutoCloseable実装メソッド				
16	Close	@Override public	Procedure	データベースをクローズ				
17	ExecuteQuery	@Override public	Function	PreparedStatementクラスのexecuteQueryメソッドの結果をList<HashMap<列名,値>>で返す				
18	ExecuteQuery	@Override public	Function	PreparedStatementクラスのexecuteQueryメソッドの結果をList<DTOクラス>で返す				
19	ExecuteQueryDirect	public	Function	PreparedStatementクラスのexecuteQueryメソッドの結果をResultSetクラスで返す				
20	ResultSetColse	public	Procedure	ResultSetオブジェクト(PrResultSet)をクローズ				
21	ExecuteCount	public	Function	select count(*)文でexecuteQueryメソッドを実行し件数を取得する				
22	clearParameters	@Override public	Procedure	クラス内のPrPrestm(PreparedStatement)によるパラメータをクリアとオブジェクト作成。				
23	setParameters	@Override public	Procedure	クラス内のPrPrestm(PreparedStatement)によるパラメータ作成と値を代入するメソッド。				
24	ExecuteUpdate	@Override public	Function	クラス内のPrPrestmによるSQLの更新コマンドを実行するメソッド				
25	ExecuteUpdate	public	Function	引数のPreparedStatementによるSQLの更新コマンドを実行するメソッド。				
26	getConec	public	Function	_Conecフィールドのゲッター				
27	getOpenFlag	public	Function	_OpenFlagフィールドのゲッター				
28	getLoginMode	public	Function	_LoginModeフィールドのゲッター				
29	setLoginMode	public	Procedure	_LoginModeフィールドのセッター				
30	getConnectTimeout	public	Function	_ConnectTimeoutのゲッター				
31	setConnectTimeout	public	Procedure	_ConnectTimeoutのセッター				
32	getMultipleActiveResultSets	public	Function	_MultipleActiveResultSetsのゲッター				

No	メンバ名	アクセス修飾	種類	説明
33	setMultipleActiveResultSets	public	Procedure	_MultipleActiveResultSetsのセッター
34				
35				
36				
37				
38				
39				
40				
41				
42				
43				
44				
45				
46				
47				
48				
49				
50				
51				
52				
53				
54				
55				
56				
57				
58				
59				
60				
61				
62				
63				
64				
65				
66				
67				
68				
69				
70				

クラス設計書 (詳細設計)	システム名	機能名	クラス名	作成日	作成者	更新日	更新者
	商品管理	データベース抽象クラス	JdkDatabase	2020/02/18	名前	2020/02/18	名前

1. クラス属性

アクセス修飾	public abstract	クラス種類	抽象クラス	パッケージ	desk.db
継承	LastException	実装(インターフェース)	なし	派生	JdbcSqlSvr

2. クラス定義

No	メンバ名	アクセス修飾	種類	説明
1	_Driver	protected	Variable	ドライバー名
2	_UrlHead	protected	Variable	接続文字列Urlの先頭部分。例: jdbc:sqlserver://
3	_Host	protected	Variable	サーバー名またはIPアドレス
4	_Instance	protected	Variable	インスタンス名
5	_Port	protected	Variable	ポート番号
6	_Catalog	protected	Variable	データベース名またはファイル名
7	_UserID	protected	Variable	ユーザーID
8	_Password	protected	Variable	パスワード
9	ConecString	protected abstract	Procedure	接続文字列代入の抽象メソッド
10	Open	public abstract	Procedure	データベース接続抽象メソッド
11	Close	public abstract	Procedure	データベースクローズ抽象メソッド
12	ExecuteQuery	public abstract	Function	ResultSetクラスを利用しSelect文の結果をList<HashMap<String,String>>で返す抽象メソッド
13	ExecuteQuery	public abstract	Function	ResultSetクラスを利用しSelect文の結果をList<DTOクラス>で返す抽象メソッド
14	clearParameters	public abstract	Procedure	PreparedStatementのパラメータクリアとオブジェクト作成する抽象メソッド
15	setParameters	public abstract	Procedure	PreparedStatementのパラメータ作成と値を代入する抽象メソッド
16	ExecuteUpdate	public abstract	Function	executeUpdateでデータベースの更新を行う抽象メソッド
17	getDriver	public	Function	_Driverフィールドのゲッター
18	setDriver	public	Procedure	_Driverフィールドのセッター
19	getUrlHead	public	Function	_UrlHeadフィールドのゲッター
20	setUrlHead	public	Procedure	_UrlHeadフィールドのセッター
21	getHost	public	Function	_Hostフィールドのゲッター
22	setHost	public	Procedure	_Hostフィールドのセッター
23	getInstance	public	Function	_Instanceフィールドのゲッター
24	setInstance	public	Procedure	_Instanceフィールドのセッター
25	getPort	public	Function	_Portフィールドのゲッター
26	setPort	public	Procedure	_Portフィールドのセッター
27	getCatalog	public	Function	_Catalogフィールドのゲッター
28	setCatalog	public	Procedure	_Catalogフィールドのセッター
29	getUserID	public	Function	_UserIDフィールドのゲッター
30	setUserID	public	Procedure	_UserIDフィールドのセッター
31	getPassword	public	Function	_Passwordフィールドのゲッター
32	setPassword	public	Procedure	_Passwordフィールドのセッター

クラス設計書 (詳細設計)		システム名	機能名	クラス名	作成日	作成者	更新日	更新者
		商品管理	最新の例外格納	LastException	2020/02/29	名前	2020/02/29	名前
1. クラス属性								
アクセス修飾	public abstract	クラス種類	抽象クラス			パッケージ	desk	
継承	なし			実装(インターフェース)	なし	派生	OriginalUncaughtException、JdkDatabase	
2. クラス定義								
No	メンバ名	アクセス修飾	種類	説明				
1	_LastExcepTitle	protected static	Variable	最新の例外タイトルが格納される				
2	_LastExcepPlace	protected static	Variable	最新の例外が発生したメソッドが格納される				
3	_LastExcepParam	protected static	Variable	最新の例外のパラメータが格納される				
4	_LastExcepMessage	protected static	Variable	最新の例外のメッセージが格納される				
5	_LastExcepTrace	protected static	Variable	最新の例外のスタックトレースが格納される				
6	SetLastException	public static	Procedure	呼び出し側からの引数による例外情報を_LastExcepTitle、_LastExcepPlaceなどへ代入				
7	LogWrite	public static	Procedure	_LastExceptionTraceの内容をログファイル書き込む				
8	getLastExcepTitle	public static	Function	_LastExcepTitleフィールドのゲッター				
9	setLastExcepTitle	public static	Procedure	_LastExcepTitleフィールドのセッター				
10	getLastExcepPlace	public static	Function	_LastExcepPlaceフィールドのゲッター				
11	setLastExcepPlace	public static	Procedure	_LastExcepPlaceフィールドのセッター				
12	getLastExcepParam	public static	Function	_LastExcepParamフィールドのゲッター				
13	setLastExcepParam	public static	Procedure	_LastExcepParamフィールドのセッター				
14	getLastExcepMessage	public static	Function	_LastExcepMessageフィールドのゲッター				
15	setLastExcepMessage	public static	Procedure	_LastExcepMessageフィールドのセッター				
16	getLastExcepTrace	public static	Function	_LastExcepTraceフィールドのゲッター				
17	setLastExcepTrace	public static	Procedure	_LastExcepTraceフィールドのセッター				
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								

クラス設計書 (詳細設計)		システム名	機能名	クラス名	作成日	作成者	更新日	更新者
		商品管理	Xmlファイル読み書きクラス	FileSupportSqlSvr	2020/02/18	名前	2020/02/18	名前
1. クラス属性								
アクセス修飾		public	クラス種類	通常クラス		パッケージ	desk.xml	
継承	JdkCommon→JdkDatabase→JdbcSqlSvr			実装(インターフェース)	なし		派生	なし
2. クラス定義								
No	メンバ名		アクセス修飾	種類	説明			
1	mMssqlSvr		private	Variable	シリアライズマッピング用オブジェクト			
2	iHoldPath		private	Variable	xmlファイルがあるフォルダ階層を格納する変数			
3	iHoldFile		private	Variable	xmlファイル名を格納する変数			
4	FileSupportSqlSvr		public	Constructor	コンストラクタ			
5	Open		public	Function	xmlファイルの接続文字列値を読み込みデータベースへ接続するメソッド			
6	Create		public	Function	標準的な内容でxmlファイルへ書き込むメソッド			
7	Create		public	Function	標準的な内容でxmlファイルへ書き込むメソッド。Openメソッドを実行した引数で作成			
8	AccessorSet		private	Procedure	xmlファイルを読み込んだ値をデータベース接続文字列プロパティへ代入			
9	SerializeDefaultData		private	Procedure	xmlファイルが無い場合標準的な内容で書き込むためのデフォルトデータセット			
10	Serialize		private	Procedure	xmlファイルへシリアライズ化し標準的な内容で書き込むメソッド			
11	Deserialize		private	Procedure	xmlファイルを逆シリアル化し読み込むメソッド			
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								

クラス設計書 (詳細設計)		システム名	機能名	クラス名	作成日	作成者	更新日	更新者
		商品管理	設定ファイル基底クラス	Config	2020/02/18	名前	2020/02/18	名前
1. クラス属性								
アクセス修飾	public abstract	クラス種類	抽象クラス		パッケージ	desk.xml		
継承	なし			実装(インターフェース)	なし	派生	SqlSvrInfo	
2. クラス定義								
No	メンバ名	アクセス修飾	種類	説明				
1	_ConfigFileName	protected	Variable	設定ファイルのファイル名				
2	getConfigFileName	public	Function	_ConfigFileNameのゲッター				
3	setConfigFileName	public	Procedure	_ConfigFileNameのセッター				

定数／変数定義書 (詳細設計)		システム名	機能名	クラス名	作成日	作成者	更新日	更新者
		商品管理	データアクセス・オブジェクト	JdbcSqlSvr	2020/02/18	名前	2020/02/18	名前
No	定数／変数名	アクセス修飾	型／オブジェクト			定数／変数初期値		
1	_Conec	private	java.sql.Connection					
2	PrPrestm	private	java.sql.PreparedStatement					
3	PrResultSet	private	java.sql.ResultSet					
4	_OpenFlag	protected	boolean					
5	_LoginMode	protected	boolean			false		
6	_ConnectTimeout	protected	int					
7	_MultipleActiveResultSets	protected	boolean					
8	ConecStr	private	java.lang.String					
9	paraCnt	private	int					
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								

